

## 約束の神 (ヘブル 6:13-18)

1. 神は、アブラハムに約束されるとき、ご自分よりすぐれたものをさして誓うことがありえないため、ご自分をさして誓い、こう言われました。「わたしは必ずあなたを祝福し、あなたを大いにふやす。」(6:13-14)
  - a. 神は約束の神である。専制君主的だったり、圧制的だったり、あなたを操ろうとしたり欺こうとされるお方ではない。しばしば映画の中では神のような存在が現れ、あなたの願いと引き換えに思い通りに操られ畏に陥られるというパターンが見られるが、神はそのようなことをなさるお方ではない。神は私たちの理解や創造を超えるすばらしい約束をしてくださるお方である。
  - b. 神はアブラハム（アブラム）にご自身を現された時、祝福と（子孫を）増やされることを約束された。もしあなたの前に神が現れあなたを祝福し増やすと言われたらあなたは思うだろうか？ アブラハムがその約束を与えられた時、妻サラ（サライ）は既に子供ができない体であった。彼の脳裏には、神は一体どうやってそれをなさるのだろうか、という考えがよぎったに違いない。
  - c. 私たちが確証できることは、神は言われたことを必ず実行される、ということである。そしてほとんどの場合神は私たちの考えや想像よりもはるかに大きくすばらしい方法でそれを実現される。
  - d. あなたに与えられている神の御約束とは何だろうか？
  
2. こうして、アブラハムは、忍耐の末に、約束のものを得ました。確かに、人間は自分よりすぐれた者をさして誓います。そして、確証のための誓いというものは、人間のすべての反論をやめさせます。(6:15-16)
  - a. 神の御約束は代価をとまなう。それは魔女があなたを美しくしてあげようとか魔法使いがあなたに力をあげようというようなひも付きのものではなく、罪によって性格がゆがめられてしまい苦しんでいる人のために神があなたを選ばれるのである。
  - b. ただしアブラハム（地上での生涯）の場合はそうではなかった。（しかし約束が成就されるためには約束の民を滅ぼそうとする人々が出てくる）アブラハムに求められたことはただ忍耐強く待つだけであった。
  - c. アブラハムは本当に忍耐強く待ったのだろうか？ 聖書にはそう書いてある。アブラハムは神の御約束を信じたので忍耐強く待つことができた。
  
3. そこで、神は約束の相続者たちに、ご計画の変わらないことをさらにはっきりと示そうと思い、誓いをもって保証されたのです。それは、変えることのできない二つの事がらによって、—— 神は、これらの事がらのゆえに、偽ることができません。—— 前に置かれている望みを捕えるためにのがれて来た私たちが、力強い励ましを受けるためです。(6:17-18)
  - a. 神が約束をされる時、それは必ず成就される。ヘブル書を読み進めていくと神がアブラハムに与えた約束はこの世では部分的にしか成就されていないことがわかる。神は失敗されたのであろうか？ そうではない。何千年にもわたってアブラハムの家系からは何万、何億という子孫が出ていて、神のご計画はまだ終わりではない。神が「お前との約束は完了した」と言われるのをアブラハムは何千年も忍耐強く待ち続けているのである。
  - b. 神は嘘をつくことができない。神は言われたことを必ず実行し、あなたはそこに信仰をおくことができる。神があなたに約束されたことは必ず成就される。私たちは神の御約束の内容を把握し、それを受けるために耐え忍び、忍耐をもって待ち望み、それを求めて競い合うこともある。
  - c. アブラハムはこの世で神に信仰をおいたので今もその恩恵を受けている。同じように私たちもこの地上で神に信仰をおくことによって永遠にわたる神の御約束の成就を見ることができると。